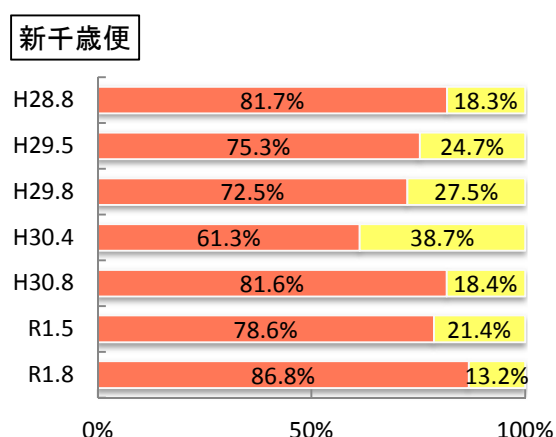
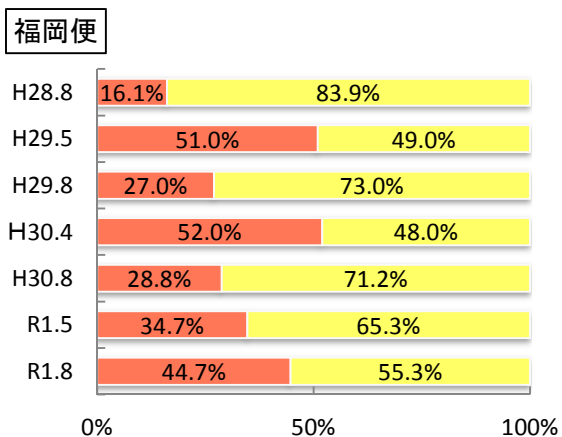
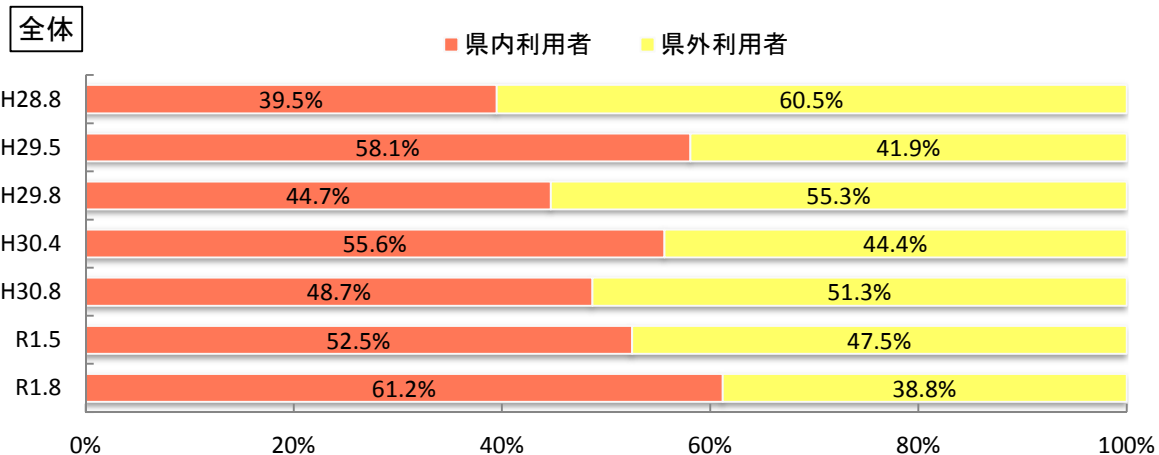


令和元年度 第2回 信州まつもと空港搭乗者アンケート調査 (新千歳便・福岡便) (令和元年8月4日～10日) における利用者の動向

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 1 実施期間 | 令和元年8月4日(日)～10日(土) |
| 2 調査方法 | 信州まつもと空港搭乗待合室で配布し同室内で回収する方式 |
| 3 調査対象 | 信州まつもと空港定期便の出発便の搭乗者 |
| 4 有効回収票数 | 新千歳便 243票 福岡便 376票 合計 619票 |

【県内・県外利用者の状況】

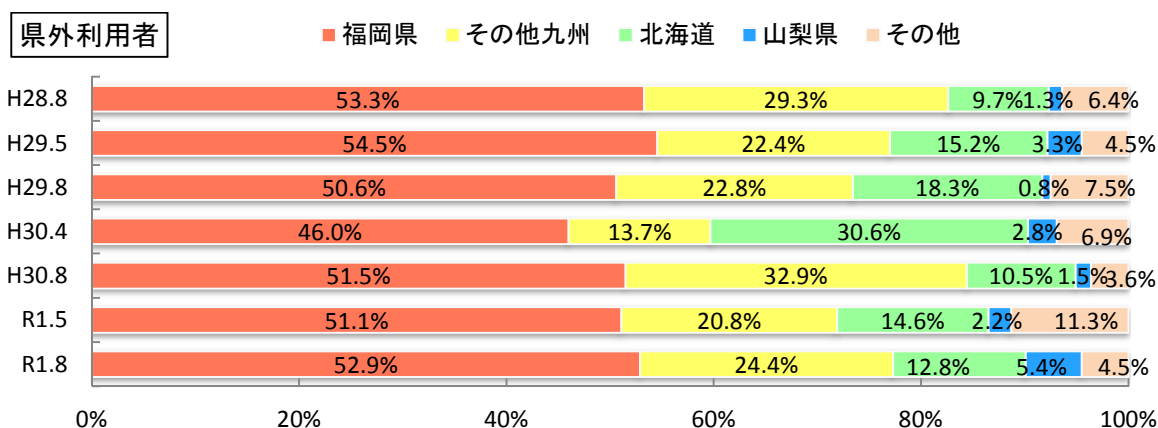
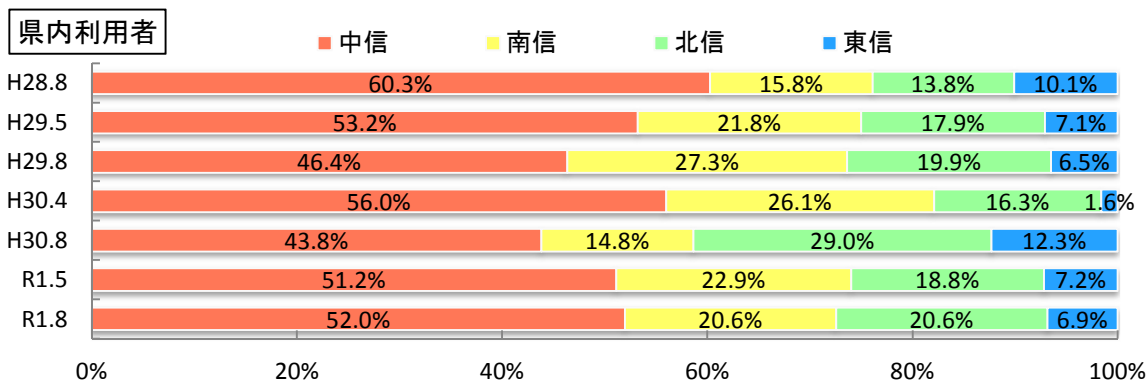
定期便全体では、県内利用者の割合が61.2%、県外利用者の割合が38.8%となった。
 路線別では、福岡便は、県内利用者の割合が44.7%、県外利用者の割合が55.3%となっており、
 県外利用者の割合が高くなっている。
 一方、新千歳便では、県内利用者の割合が86.8%、県外利用者の割合が13.2%となっており、
 県内利用者の割合が高くなっている。



【利用者の居住地】

居住地別に見ると、県内利用者では中信がおよそ半数を占めている。昨年8月の調査と比較すると、北信が8.4ポイント減、東信が5.4ポイント減だが、中信が8.2ポイント増、南信も5.8ポイント増加している。

県外利用者の割合を見ると、福岡県からの利用者は全体の52.9%、その他九州地区からの利用者は24.4%、北海道からの利用者は12.8%であった。また、隣県の山梨県からの利用者は5.4%という結果となった。

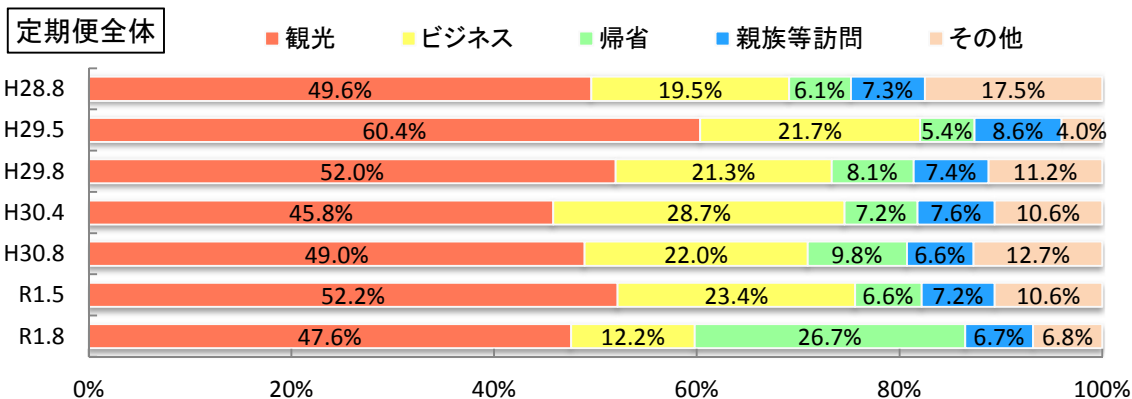


【旅行目的】

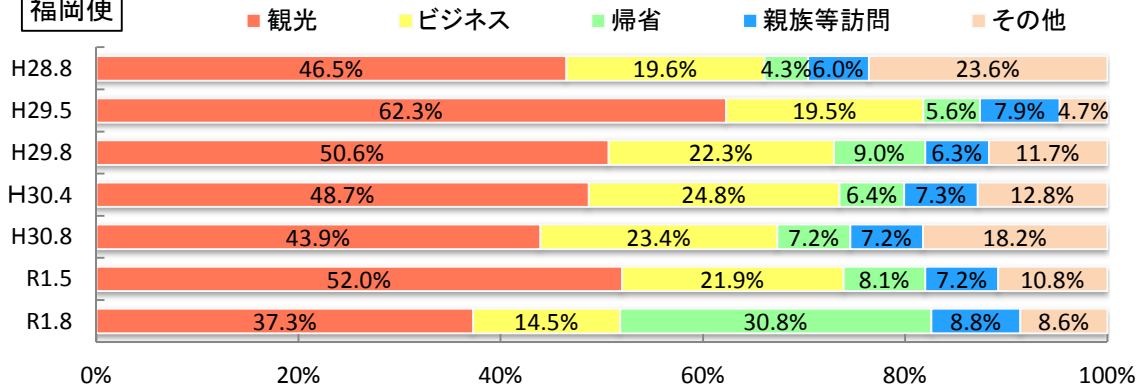
旅行目的については、定期便全体で、観光目的が47.6%、ビジネス目的が12.2%という結果となった。

路線別に見ると、福岡便では観光目的が37.3%、ビジネス目的が14.5%であった。

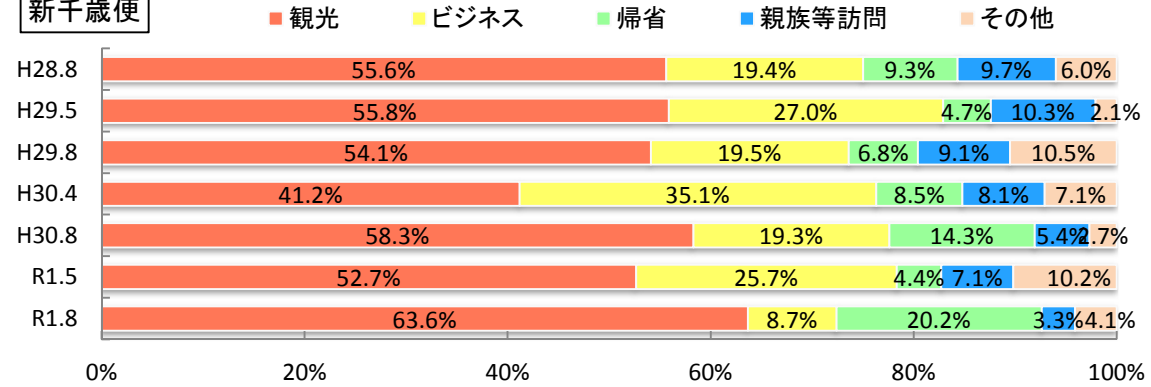
新千歳便については、観光目的の割合が63.6%と、昨年8月の調査と比較し5.3ポイント増加した。帰省の割合が増加した要因に、今年はお盆期間前にアンケート調査を実施したことが考えられる。(過去3年間はお盆期間後に調査実施)



福岡便

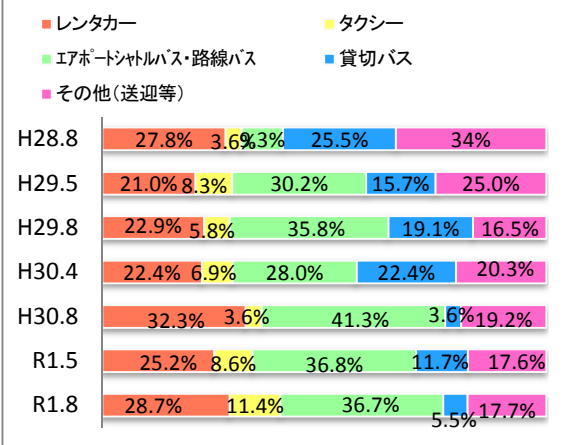


新千歳便

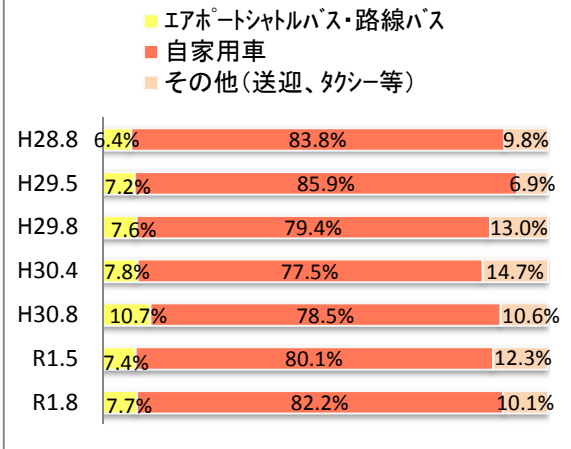


【参考:その他調査項目】

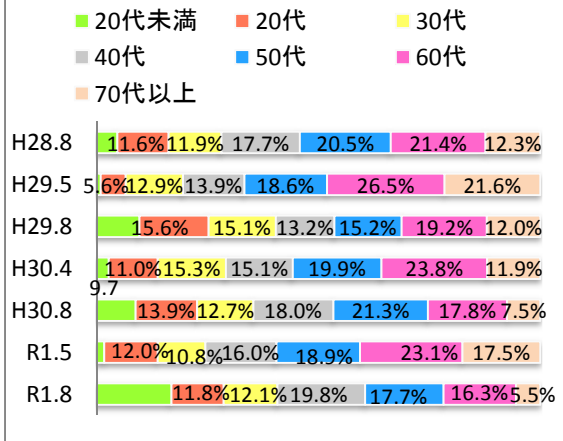
県外利用者 空港からの交通手段



県内利用者 空港までの交通手段



利用者年齢層



旅行日程

